

第3分科会「教育環境整備に関する課題」

(報告者) 安来市教頭会所属  
松江市教頭会所属

「自信をもって未来を切り拓くことのできる児童生徒の育成」を目指した教育環境整備  
ー地域社会及び学校間との連携をさらに推進するための教頭の役割ー  
〔提言者〕 秋田県鹿角教頭会

○発表の概要

〔研究のねらい〕

地域社会及び学校間と連携して進めてきたこれまでの教育活動において、教頭がどのような役割を担ってきたのかを明らかにし、自信をもって未来を切り拓くことのできる児童生徒を育成するために、教頭として今後できることは何かを探る。

〔研究の概要〕

- (1)地域社会との連携 ①外部人材や地域資源活用のパイプ役 ②目的の共有化  
(2)学校間の連携 ①連絡調整及び場の設定 ②趣旨説明及び助言

〔成果と課題〕

- (1)成果 地域との交流でコミュニケーション能力やふるさとへの愛着が高まり、相手のことを考えて行動する大切さを学んだ。様々な立場の方から学校や子供に対する思いや考えを聞くことで、学校経営や地域活動の一助となった。ふるさとを広い視野で捉え、お互いのよさを認め合い、伝統の継承や重みについて考える機会となった。  
(2)課題 交流までの準備に多くの時間を要することから、交流の制限、活動のマンネリ化に繋がっている。高齢化や予算不足から、活動の維持が困難になることが予想される。

○質疑及び協議

〔10 グループ討議〕

持続可能な取組とするためには、学校と地域が WinWin の関係になることが大切。高齢化の進む中、地域の若い人に目を向けてはどうか。企業の研究募集で資金調達を図る方法もある。

ICTを最大限活用し、デジタルのよさが実感できる教育環境づくり  
ーGIGA スクール構想推進に向けての教頭の役割ー  
〔提言者〕 香川県綾歌支部教頭会

○発表の概要

〔研究のねらい〕

綾歌支部研修会での各校実践交流や協議等を通し、郡内学校が連携・協働して GIGA スクール構想の実現が図られるよう、教頭としての役割や関わり方を明らかにする。

〔研究の概要〕

- (1)町教育委員会や関係機関との連携強化 (2)教職員の情報活用能力の向上  
(3)校内 ICT 推進体制の整備

〔成果と課題〕

- (1)成果 児童生徒が全国学力学習状況調査関係項目で肯定的な回答が全国平均を上回った。教職員の質問紙調査関係項目で肯定的な回答が前回調査より増加した。関係諸機関との連携強化により端末トラブル対応や端末活用への有効な取組が可能となった。  
(2)課題 学校間、教職員間で ICT 利活用への意欲に差がある。情報教育教員や外部人材等を活用した支援体制づくりを継続的に行い、教育の質の向上につなげる必要がある。

○質疑及び協議

〔27 グループ討議・全体共有〕

ICT への関わりでスキル、意識等に差がある。教頭として ICT 支援員の活用、研修会の設定等行政との連絡パイプ役、通常業務改善、端末・情報管理等役割分担を行うことも必要である。